

公開授業

理 科

生命の連続性

学 級：3年3組

授業者：山田啓司

～遺伝の規則性～

研究主題

自然を科学的に追究し、豊かな自然を共創する生徒の育成

研究副主題

自分の興味、経験などに基づいて学習内容や学習方法を自ら選択し、他者と協働して追究していく学習

自己調整力を育むパーソナライズド・ラーニングの展開

生徒一人ひとりが疑問から個々の課題を見だし、その課題を解決する過程を重視した学びを展開したいと考えています。なぜなら、自らの学習過程や認知過程に能動的に関与することで自己調整力を育むことができるからです。

そこで、本時は、生命の領域において、

子や孫への形質の現れ方について、個々の学習課題を見いだす授業

を提案いたします。

トウモロコシとエンドウの種子の遺伝現象について、「なぜ子では片方の形質しか現れないのか」、「なぜ孫では子で現れなかった形質が現れるのか」など、生徒が自らの疑問をもとに、個々の学習課題を設定します。さらに、課題を解決する過程を見通すことで、その課題を具体的かつ本単元で探究可能な課題へとブラッシュアップしていきます。

メタ認知との関わり

個々で学習課題を設定する上で、抽象的もしくは解決することが難しい課題を設定することが想定されます。そこで、本校理科で設定したメタ認知的知識を意識しながら、他者との協働や対話型生成AIとの対話を通して、新しい視点を得たり、自分の考えはこれでいいのかと一度立ち止まって振り返ったりすることで、メタ認知を働かせます。そうすることで、自らの学習を調整し、個々の課題が具体的でかつ本単元で探究可能な課題設定へと導くことができるものと考えています。

